

「イノベーションリサーチ交流会 in 福井大学遠赤外領域開発研究センター」のご案内

テラヘルツ波を利用したプラスチックリサイクルの可能性 ～最近の廃プラ問題の解決に向けて～

ふくいオープンイノベーション推進機構 (FOIP)

近年、漂着ごみやマイクロプラスチックのような海洋汚染問題、プラスチック廃棄物資源の海外輸出問題、レジ袋やストローなどの使い捨て容器の増加、コロナ禍の影響による容器包装廃棄物の急増など、世界各国で廃プラ問題に注目している。特に、持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)の達成や循環経済 (Circular Economy) の実現が求められている中、廃プラスチック材質の高度な識別と再資源化がもたらされている。

静岡大学・芝浦工業大学・東北大学は、「プラスチック製容器包装廃棄物の高度選別装置の事業化」に関する研究を行ってきたが、テラヘルツ波の特性を利用して既存の識別装置では識別が難しかった、黒色プラ、添加剤や難燃剤などが含まれている混合プラを識別することができた。また、紫外線や長期使用による劣化の度合いを把握できることも確認している。

これらの識別技術は、4月1日から施行される「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」によって発生する廃プラを適切に選別することに応用することができ、廃プラスチック資源の再資源化による高品質の再生資源の確保に大きく貢献できる。

セミナーでは、これらの大学発新産業創出プログラムの支援を受けたプロジェクトと、先端シーズ研究所施設見学会として福井大学遠赤外領域開発研究センターの地域貢献等について紹介する。

- 1 名称: 「イノベーションリサーチ交流会 in 福井大学遠赤外領域開発研究センター」
- 2 日時: 令和4年5月19日(木) 9:30~12:00 (受付 9:00 ~)
- 3 場所: 福井大学遠赤外領域開発研究センター 5階 コロキウム室 (福井市文京3丁目9-1 総合研究棟Ⅱ) 【福井大学学内地図】https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/data/campus/campus_bunkyo/
- 4 主催: ふくいオープンイノベーション推進機構 (FOIP)、福井大学遠赤外領域開発研究センター、北陸未来共創フォーラム (セキュア電磁波エネルギー応用ワーキンググループ)
- 5 内容:
 - (1) テラヘルツ波を利用したプラスチックリサイクルの可能性
～最近の廃プラ問題の解決に向けて～ (9:30~11:10)
 - ・最近の廃プラ問題とテラヘルツ波の可能性
東北大学 グリーン未来創造機構・大学院国際文化研究科・大学院環境科学研究科
教授 劉庭秀 氏
 - ・装置開発内容と改善点
芝浦工業大学 デザイン工学部 デザイン工学科 教授 田邊匡生 氏
 - ・GaP テラヘルツ光源開発状況と潜在力
静岡大学大学院 光医工学研究科 教授 佐々木哲朗 氏
 - (2) 先端シーズ研究所施設見学会 (11:25~12:00、実参加者のみ対象となります)
 - ・福井大学遠赤外領域開発研究センターのご紹介と地域貢献について
福井大学 遠赤外領域開発研究センター センター長 教授 谷 正彦 氏
- 6 参加費 無料
- 7 問合せ・申込先 (ふくいオープンイノベーション推進機構への入会を兼ねます)
5月17日(火)までに、GoogleFormにて申し込み下さい。

GoogleFormによる直接事前申し込み(リンク先) <https://forms.gle/gv2mcY4iaGGwPfA96>

お問い合わせは下記にお願いいたします。

公益財団法人 ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部 ネットワーク推進室 松井

TEL : 0776-55-1555

e-mail : foip@fisc.jp

以上